

[ 様式 1 ]

## 令和 7 年度 三好市立学校評価報告書

学校名( 西井川小学校 )

校長名( 左海 久 )

作成日 令和8年3月31日

### 1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.7	<p>「徳島県で一番やさしさがいっぱい为学校」を目指した取り組みにより、児童の9割が「学校での私は幸せ」と回答し、「自分は大切にされている」と感じる児童は100%に達するなど、極めて高い肯定的な結果がアンケートから得られた。ICT活用の面では、独自の「なかいいパスポート」を道徳や特別活動と連動させ、児童の約8割が行動変容を実感している。</p> <p>一方で、教職員の働き方改革については、肯定的な評価が6割程度にとどまり、業務改善に課題を残した。また、家庭学習や読書習慣の定着、適切なメディア利用の指導が今後の重点課題として挙げられる。</p>	<p>創立150周年記念式典や学習発表会での児童のたくましく素直な成長ぶりが高く評価されており、保護者や卒業生からも感謝や幸せを感じるとの声が寄せられている。今年度、複式学級という環境においても、児童数の少なさをプラスの力に変えて教育活動を展開している点が評価された。</p> <p>また、タブレットを用いた学びの蓄積はデジタル時代に即しており、地域の強みである「協働性」との両立を期待する意見が出ている。</p> <p>一方で、家庭学習の評価数値が他の項目に比べて低い点について、達成基準を明確に示すとともに、親子でモチベーションを高めるような啓発が必要である。</p>	<p>教職員の負担軽減と持続可能な運営のため、校務DXの推進や業務の平準化、12の「やめることリスト」の実践など、全職員の意見を取り入れた創意工夫を進める。教育面では、複式学級のメリット・デメリットを踏まえた授業づくりを模索し、「書く・話す」活動を意図的に取り入れて児童の主体性を育てていく。</p> <p>また、伊座利小学校との新たな交流活動の検討や、ノーメディアデーの定期的な啓発を通じて家庭との連携を強化を図る。</p> <p>さらに、独自ツール「なかいいパスポート」をシステム化し、教職員の異動等に関わらず効果的な活用が継続できる体制を整えていく。次年度以降も、保護者や地域の方々とともに互いが無理なく持続可能な教育活動を継続していく。</p>
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.8			
③ 主要な教育活動に関する評価	3.8			
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.8			
⑤ その他、上記以外に関する評価( )	3.5			

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80～100 %

3=達成度が 50～ 80 %

2=達成度が 30～ 50 %

1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の( )には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。